

【砂原央】

[砂原 央 \(Sunahara Hiroshi\) - マイポータル - researchmap](#)

・ 研究のキーワード

犬，口腔内細菌，弁膜症，感染性心内膜炎

・ 研究テーマ

○ 犬における口腔内細菌の弁膜症への影響，

犬で最も発生率の多い弁膜症は10歳以上の90%で認められており，重症化した場合，生存期間を短縮する致命的な心疾患である。

また犬の口腔内細菌は人の何倍も存在しており，人では歯科処置によって血液内に細菌が入ることが知られている。

血液内に入った細菌が弁膜症を悪化させている可能性があることが報告されていることから口腔内細菌と心内の弁を採材することで増悪因子になるかを調査している。

○ 犬における口腔内細菌と感染性心内膜炎の関連

犬において，感染性心内膜炎は急性に発生し，致死的な疾患である。

犬では人の何倍も口腔内に細菌が存在していることから，何らかの事象によって体内に細菌が侵入することで感染性心内膜炎が起きる可能性が示唆されている。

そのため，感染性心内膜炎と診断され，血液培養で認められた細菌と口腔内細菌の関連を調べ，対予防策を考案している。

・ 共同研究に向けたアピールポイント

臨床現場において，実際に循環器科として診療しているため，多くのサンプルを集めることが可能です。